

2013年(平成25年)2月15日(金曜日) 第○

中 日 新 聞

シンガポール人ら
酒蔵見学を楽しむ

古 川

シンガポールで日本酒を扱う飲食店の関係者や日本酒愛好家らが十四日、飛騨市古川町の老舗、渡辺酒造店を訪れ、酒蔵見学や試飲を楽しんだ。

一行は日本人を含む二十人で、酒造りの現場を知りたいと訪れ



日本酒を醸造するタンクの内
部をのぞき、香りを確かめる
参加者たち―飛騨市古川町で

た。酒造店では、蔵人が店の歴史を紹介し、酒米が発酵する仕組みなどを説明。参加者は仕込みが進むタンクの中をのぞいて香りを確かめるなどした。参加者のシャネット・マーさんは昨年に秋田県を訪れ日本酒の魅力を知ったといい「香りが上品で、ワインとは違う酒の楽しみを知った。もっと飲みたいくて参加した」と笑顔を見せた。渡辺酒造店は現在、米国、韓国、香港、シンガポールと取引がある。同行した酒販店・折原(東京都)の藤原慎一さん(四七)は「シン

ガポールはリーマンショック後の景気回復も速く、日本酒が浸透しており需要は今後も伸びる」と話した。一行は高山市内で宿泊し、原田酒造場も見学する。(島将之)